

# Tidal Enterprise Orchestrator : ROI のレポート

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ROI のレポート](#)

[設定するため](#)

[関連情報](#)

## 概要

TEO の Return On Investment ( ROI ) レポートはビジネス過程を vs それを手動ですること自動化することが TEO ができるときどの位通貨をそれらが貯めるかエンドユーザに示します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Tidal Enterprise Orchestrator 2.1 または それ以降
- SQL レポート サービス

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## ROI のレポート

ROI レポートは TEO サーバおよびレポート サービス サーバを渡る設定を必要とします

## 設定するため

次の手順を実行します。

1. SQL RS サーバへの Import レポートは、**管理 タブ**をクリックし、次に**設定**を『Database』をクリックします。
2. **データベース > Import レポートの報告**を右クリックし、ウィザードのステップを完了して下さい。
3. 次に、同じ**管理 タブ**および右クリック **コア 機能 アダプタ**で『Adapters』 をクリックして下さい。
4. **ROI タブ**をクリックすれば、自動化された プロセスを手動で実行するために要するかどれでビジネス リサーチに基づいて、時間給を入力して下さい。[OK] をクリックします。
5. **トラッキング**したいプロセスに関しては、プロセスを編集し、プロセス Properties のための **General タブ**に行く必要があります。そのタブで、このプロセス入力の実行によって保存される**時間**を見ます。何秒/分/時間をこのプロセスから保存するか**の時間値**を入力して下さい。**注:** これは Cisco 含まれたコンテンツのために既に定義されています、0 にデフォルトする新しいコンテンツを開発すれば、そうそれから設定される必要があります。
6. 普通 [http:// <RS\\_Server>/Reports](http://<RS_Server>/Reports) **TEO レポート** リンクに行くレポートを表示するために、SQL レポート サービス サーバに行きます。 **コア > オペレーション > ROI レポート**を選択して下さい。それから **TEO サーバ**を選択し、毎日原価節約を見るためにレポートを生成して下さい。

## 関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)